

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	ひとり親家庭のための合同就職説明会						掲載ページ		
							155		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		3,776	千円	4,500	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 母子家庭は、平均年収が約234万円と低い水準にあり、また非正規職員の割合が約5割と高く、非常に厳しい状況にあります。このような母子家庭等ひとり親家庭の父母の就業を支援するため、ひとり親家庭への理解を示す企業を開拓し、企業への就職の場を提供する「合同就職説明会」を開催し、就業機会を増やします。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。				
活動計画	就職が困難なひとり親家庭の父母を対象に、ひとり親家庭に理解を示す企業による合同就職説明会を開催し、就業と自立を支援します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	合同就職説明会の参加者数	69 人	100 人	65 人	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	就業による自立を促進することは重要であることから、ひとり親家庭の就業を支援する施策の利用者数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度）100人以上（毎年度）			65.0 %		
	（最終目標と最終年度）					

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成26年11月30日に北九州市合同就職説明会を開催しました。参加者数は昨年度とほぼ同数であり、目標人数には達していませんが、就職の困難なひとり親家庭の父母の就業の機会を提供できたため順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	説明会の会場内で、子育てや就職に関する相談や講座を開催し、効率的な運営を行いました。また、平成25年度から始めた母子・父子福祉センターのブース内で、同センターで実施している「母子自立支援プログラム策定事業」を平成26年度も引き続き案内し、当該事業による就業支援の希望者には、同センターで就職までの支援を行いました。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

就職が困難なひとり親家庭の父母等の就業と自立を支援するため、引き続き事業を継続し、就業の機会を増やしていきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	母子家庭自立支援給付金事業の推進						掲載ページ		
							155		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		132,451	千円	150,355	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 母子及び寡婦福祉法第31条に規定する母子家庭の母の雇用の安定及び就職の促進を図るための給付金を支給します。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。				
活動計画	収入面、雇用条件等で安定した仕事に就き、自立を促進できる事業であり、法の規定に従い、引き続き現状の支援を行います。					
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金の受給件数	127 件	—	114 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	就業による自立を促進することは重要であることから、母子家庭の就業を支援する施策の利用件数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度）					
	給付金受給者の資格取得率（合格者／受給者）	98.3 %	—	96.4 %	順調 やや遅れ 遅れ	順調
就業の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格の取得を目指すことが目的であるため、資格取得率を活動指標としました。 （最終目標と最終年度）						

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	母子家庭の母親の就業を促進し、自立を支援するため、就職に有利で生活の安定につながる資格の取得を促進するための「高等技能訓練促進費等給付金」、就職につなげる能力開発のため教育訓練講座の受講料を助成する「自立支援教育訓練給付金」を支給し、母子家庭の母の自立を促進しました。なお、25年度より、父子家庭の父親も支給対象とし、対象資格に、自動車整備士、調理師、臨床検査技師を加えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	支給金額等は、法律等で規定されています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

収入面、雇用条件等でより安定した仕事に就くことで、自立の促進につながる事業であり、法の規定に従い引き続き現状の支援を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	母子・父子福祉センター事業の充実						掲載ページ		
							155		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		38,436	千円	41,297 <small>(母子・父子福祉センター事業の総額。本事業はその一部)</small>	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	「母子・父子福祉センター」において、各種相談事業、自立促進のための各種講座、就職相談会や親子のふれあい事業などを実施し、ひとり親家庭等の総合的な福祉の増進を図ります。また、就業支援の充実を図るため、母子福祉センターの就業支援員に専門職(キャリアカウンセラー)を配置して行なっている自立支援プログラム策定事業をPRし、事業による就業者の増加を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	ひとり親家庭等の様々な相談に応じるとともに、生活指導や技能習得のための講座の開催、就職の援助等を行い、生活の安定や福祉の向上に努めます。また、就業支援の充実を図るため、母子福祉センターの就業支援員に専門職(キャリアカウンセラー)を配置して行っている自立支援プログラム策定事業をPRし、事業による就業者の増加を図ります。							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	母子・父子福祉センターの利用者数		10,011 人	6,000 人	10,252 人	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	母子・父子福祉センターは、相談事業や就業支援事業等を行い、母子福祉を総合的に推進する拠点施設であることから、その利用者数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度) 6,000人(平成26年度)				170.9 %		順調	
							遅れ	
					遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	一般・特別相談(1,578人)、就業支援講習会(396回開催、延べ4,947人受講)、生活指導(612人)等を実施しました。就業支援講習会は、講座の内容等を見直すことにより、前年度より76人受講者が増加しました。専門職(キャリアカウンセラー)による自立・就業支援の結果、自立支援プログラム策定件数は174件、それによる就業者は100人となりました。この結果、平成26年度の母子・父子福祉センターの利用者数は10,252人となり、前年度より241人増加したことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	指定管理者制度を導入し、コストの削減等に努め、効率的かつ経済的な事業実施に努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
自立促進のための講座の見直し(入替え、時期、時間帯など)を図り、受講者数の増加を目指します。また、様々な機会を通じて母子・父子福祉センターをPRし、利用者数の増加を目指します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	母子自立支援プログラム策定事業等成功事例集の作成						掲載ページ		
							155		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	41,297 <small>(母子・父子福祉センター事業の総額。本事業はその一部)</small>	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	「母子・父子福祉センター」で実施している母子自立支援プログラム策定事業等によって、就業につながった事例などを集めた成功事例集を作成し、今後の就業支援に役立てます。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	母子自立支援プログラム策定事業等によって、就業につながった事例などを集めた成功事例集を作成し、就業支援に役立てます。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	母子自立支援プログラム策定事業等成功事例集の作成配布		作成配布	—	作成配布	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	成功事例集を500冊発行し、母子福祉センターや各区役所子ども家庭相談コーナーにおいて活用します。そのため、数値で示すことが困難です。 (最終目標と最終年度)						
						順調	順調
(最終目標と最終年度)					やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	成功事例集の改訂版を作成し、母子福祉センターや子ども家庭相談コーナーで配布することで、就業支援に役立てることができたことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	母子自立支援プログラム策定事業を行う指定管理者が作成することにより、効率的に取り組みます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
就労支援の充実を図るため、成功事例集を作成し、母子福祉センター、各区役所子ども家庭相談コーナーにおいて、就労支援、モチベーションの向上、プログラム策定事業のPR等に活用します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	母子寡婦福祉資金貸付金制度の利用促進						掲載ページ		
							156		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		173,450	千円	400,875	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	母子家庭や寡婦の経済的自立の促進および生活意欲の向上を図るため、貸付の利用を促進します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	母子家庭等の生活の安定と向上を図るため、引き続き、貸付事業を継続します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	貸付件数	491 件	—	404 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	就業による自立を促進することは重要であることから、母子家庭等の就業や子育て・生活を支援する施策の利用件数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度）					
						順調
（最終目標と最終年度）						

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	貸付事業の実施により、母子家庭等の子どもの修学、母親の資格取得等を助け、生活の向上と安定に寄与したことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	母子及び寡婦福祉法に定められた事業であり、金額等は法律等で規定されています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
母子家庭等の生活の安定と向上を図るため、引き続き、貸付事業を継続します。 なお、根拠法律の改正により、平成26年10月から、貸付対象に父子家庭を加え、「母子・父子・寡婦福祉資金貸付金制度」として実施しています。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	ひとり親家庭等医療費支給事業						掲載ページ		
							156		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		910,839	千円	802,756	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	母子家庭の母または父子家庭の父及び児童、父母のない児童の健康の向上と福祉の増進を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成します。				活動実績	活動実績は下記のとおりです。
活動計画	現行制度を継続して実施します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	医療費支給制度の維持	—	—	—	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	制度を維持し、母子家庭等の経済的負担を軽減することで、経済面における悩みや不安を感じる人の割合は減少すると予想されるため、指標として設定しました。 (最終目標と最終年度)					順調	順調
					やや遅れ		
	(最終目標と最終年度)				遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	制度を継続して実施し、経済面における悩みや不安を感じる人の割合の減少につながったと考えられ、施策に対する効果は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保険診療による自己負担額を助成する制度であり、代替手段は考えられません。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
ひとり親家庭等の健康の向上と福祉の増進を図るため、現行制度を継続して実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	児童扶養手当						掲載ページ		
							156		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		5,448,417	千円	5,648,700	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し、もって児童の福祉の増進を図ることを目的としています。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	法令等に基づき、確実に手当を支給します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	手当の確実な支給	5,557,174 千円	-	5,448,417 千円	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	法定受託事務であり、法令等に基づいて、手当を確実に支給することが必要であるため、指標に設定しました。 (最終目標と最終年度)						
						順調	
(最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	法令等に基づき、確実に手当を支給し、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与していることから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	法定受託事務であり、支給要件・手当額当が全国一律に定められているため、評価に馴染まないと考えています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
法定受託事務であり、法令等に基づいて、手当を確実に支給します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業						掲載ページ		
							156		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		3,315	千円	4,235 <small>(母子家庭等生活支援事業の総額。本事業はその一部)</small>	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	母子家庭、父子家庭及び寡婦の生活の安定を図るため、修学等の自立促進に必要な事由により、一時的に生活援助や保育サービスが必要なとき、生活を支援する者家庭生活支援員を派遣します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	家庭生活支援員の派遣により、母子家庭等の生活の安定を図ります。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	家庭生活支援員の派遣回数	241 回	—	209 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	就業による自立を促進することは重要であることから、ひとり親家庭等の生活を支援する家庭生活支援員の派遣回数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度)					
					順調	順調
(最終目標と最終年度)				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	家庭生活支援員の派遣件数は減少しましたが、希望する世帯へ派遣することができたため、順調としました。 家庭生活支援員を派遣し、生活援助、保育サービスの便宜を提供することにより、母子家庭等の生活の安定に寄与しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	母子福祉団体に委託することにより、効率的に事業を行っています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
母子家庭等の生活の安定を図るため、引き続き、事業を継続します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	母子生活支援施設(母子寮)の運営						掲載ページ		
							156		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		112,818	千円	135,491	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	市内2箇所の母子生活支援施設(母子寮)において、児童の福祉に欠ける母子を保護し、自立促進のためにその生活を支援し、合わせて退所した者について相談、その他の援助を行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	児童の福祉に欠ける母子を保護し、その自立の促進のために生活を支援します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	児童の福祉に欠ける母子を保護し、その自立の促進のために生活を支援します。そのため、数値で示すことが困難です。 (最終目標と最終年度)	—	—	—	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
					順調	順調	
	(最終目標と最終年度)				やや遅れ		
				遅れ			

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 母子生活支援施設(母子寮)を円滑に運営できたことから、順調としました。児童の福祉に欠ける母子を保護し、その自立の促進のために生活を支援しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 指定管理制度により、コストの削減等に努めています。(措置費は国基準により支弁)

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
児童の福祉に欠ける母子を保護し、その自立の促進のため、引き続き、事業を継続します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	休養ホーム利用補助						掲載ページ
							157
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		79 千円	4,235 千円 <small>(母子家庭等生活支援事業の総額。本事業はその一部)</small>	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	ひとり親家庭等のレクリエーションと休養のため、国民宿舎などを休養ホームに指定し、宿泊料の一部を補助します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	宿泊料金の一部補助により、レクリエーションと休養のための便宜を供与します。					
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	利用補助件数	12 件	—	11 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	ひとり親家庭の子育て・生活を支援するため必要であると考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)					
					順調	順調
(最終目標と最終年度)				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 休養ホームの利用を希望する世帯全てに支援できたため、順調としました。宿泊料金の一部補助により、レクリエーションと休養のための便宜を供与し、ひとり親家庭等の福祉の向上を図ることができました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 母子及び寡婦福祉法に、無料又は低額な料金での利用が定められています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
ひとり親家庭等の福祉の向上を図るため、引き続き事業を継続します。 なお、本事業は、「ひとり親家庭等日常生活支援事業(母子家庭等生活支援事業)」の一環として実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	母子・父子世帯向け市営住宅への優先入居						掲載ページ		
							157		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	建築都市局
		0	千円	0	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	住宅管理課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	市営住宅の定期募集に際して、母子・父子世帯に対して一般抽選枠と別に募集枠を確保する優先的な取り扱いを行い、母子・父子世帯の居住安定確保を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	年間約1,400戸を募集している定期募集において、母子・父子世帯に対して一般申込枠と別に募集枠を確保することで入居者選考において優先的な取り扱いを行います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	母子・父子世帯向け募集住戸数	213 戸	100 戸	230 戸	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	母子・父子世帯の居住安定確保に繋がると考え、母子・父子世帯向け募集住戸数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度）			230.0 %			
					順調	順調	
（最終目標と最終年度）				やや遅れ			
				遅れ			

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 母子・父子世帯の応募倍率が高いことを踏まえ、可能な限り母子・父子世帯向けの募集住戸数を確保できたことから、順調としました。 市営住宅は、健康で文化的な生活を営むための住居に困窮する方々を対象とするものであり、母子・父子世帯等に対して優先的に募集を受け付ける本事業は、ひとり親家庭の居住の安定を確保する上で不可欠な事業であると考えています。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 募集業務や管理業務についても「管理代行制度」や「指定管理者制度」を導入し、経済的・効率的な運用を実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
より良い募集方法の実施に向けて、入居選考方法や提供戸数の見直しを検討します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	ひとり親家庭施策の周知						掲載ページ		
							157		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		691	千円	4,500	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	自立を図るために必要な情報を周知するため、ひとり親家庭の利用できる制度や施設をまとめた「ひとり親家庭のガイドブック（携帯版）」を作成し、配布します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	ひとり親家庭等を利用できる制度や施設をまとめた冊子を作成・配布することにより、自立を図るために必要な情報を周知します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	「ひとり親家庭のガイドブック」の作成・配布	作成 配布	—	作成 配布	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	ひとり親家庭のガイドブックを13,000冊発行し、各区の相談窓口や母子父子福祉センターなどで配布することにより、ひとり親家庭等の自立を図るために必要な情報の発信につながると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）					
					順調	順調
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	ひとり親家庭等を利用できる制度や施設をまとめた冊子を作成・配布することにより、自立を図るために必要な情報を周知することができたことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	携帯版にすることにより、利便性や経済性の向上を図りました。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
ひとり親家庭等に、自立を図るために必要な情報を周知するために、現状のまま、事業を継続します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	子ども・家庭相談コーナーの運営						掲載ページ		
							157		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		85,388	千円	87,899	千円	施策名	ひとり親家庭への支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	「子ども・家庭相談コーナー」で、子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待対応等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげ、総合的な相談窓口としての役割を担います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	相談件数		76,801 件	-	78,881 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	各区の子ども・家庭相談コーナーにおいて、子ども・家庭相談員等が、来所、電話、訪問、手紙など、様々な形態による相談に応じています。その相談件数を活動指標として設定しました。						
						順調	順調
(最終目標と最終年度)					やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図っています。相談件数は増加しており、コーナーでは関係機関と連携し、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図っていることから、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	事業の実施にあたり、計画的な研修を通じ相談員の資質向上を図るなど効率的な運営をしています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
子どもと家庭に関する相談は増加傾向にあり、またその内容は複雑化していることから、相談員にはより高い専門性が求められています。そのため、相談員を対象に年間を通じて計画的に行っている初任者研修、主務者研修、弁護士会との合同研修、事例検討会等に加え、子ども・家庭相談コーナーのニーズに応じた研修を新たに行うことにより、相談員の資質の向上を図り、あらゆる相談にきめ細かく対応していきます。